

乍恐袖控

一 元録(44) 九年竹嶋渡海

御制禁被為仰出其後

家業失、雲州江引越願

差出候所、其段以御憐愍

御差留被仰附、則其刻

魚鳥問屋座九右衛門

家録(44) 被仰付候旨、燒殘之

旧記御座候、左候得者元録(44)

宝永之間と奉存候、尤魚鳥

口錢取被為仰付候節ハ

乍恐

本源院様御代、則御奉書ニ

七月十四日と御座候得共年号ハ

御書載無御座候、尤其節

町御奉行益田権九郎様村井権兵衛様御兩家

御勤被遊候砌ナ御座候、且私

先祖江不被蒙仰已前者

何れへ相蒙居候哉、一向承伝

居不申上候

一 九十七年已前

正徳五乙未八月二日大谷

九右衛門問屋名代手代を

問屋といたし御着御用等も

手代出し勤候様被仰付

一 日々ニとあみ着ニ至迄

問屋江出し売候様、目代儀右衛門へ

申付候様被仰付

右之趣年寄役月番大谷

藤兵衛、則蒙仰私方へも

被仰渡候、此段旧記書頭

御座候間、御届申上候、以上

未
三
月
日

大
谷
新
九
郎

（印）